



日彰館高校「人形劇の会」に集って

令和7年度 保・小・中・高ルー企画ファイナルステージ

0歳から18歳までの育ちと教育をつなぐ「人形劇の会」

昨年につけて日彰館高校との交流

8月6日～8日の3日間、日彰館高校の保育基礎の授業選択している生徒さんたちが保育所に実習に来られました。子どもたちに関わる姿がとても自然で大人気！実習の3日間が終わった翌日も「おねえちゃん先生は？」と言っている子も…10月10日の日彰館高校の体育祭には、かけっこで参加させていただきました。毎年恒例の「人形劇」もみんな楽しみにしています。高校生への憧れや「吉舎がすき」という気持ちを大切にしながら今後も交流を深めていきたいと思います。

いよいよ「人形劇の会」

12月10日は、待ちに待った「人形劇の会」です。吉舎保育所は歩いて、敷地保育所はバスで日彰館高校へ行きました。笑顔いっぱいの高校生のお兄さんお姉さんたちが、迎えてくれて、今から楽しみだな～！！と格技場へ入ることができました。かわいい手作りの人形とセットを使って「まどからのおくりもの」と「てあらい だいさくせん」が演じられ、子どもたちはどんどん楽しいお話の世界に入っていました。



「はじまるよ～はじまるよ～♪」の手遊びで
和やかに始めました



人形劇の後は、「あっサンタさんだ！」とサンタさんが登場。みんながよく知っている「ぼよよん行進曲」を、みんなで元気に楽しく踊って、子どもたちもますます楽しい時間にとってもステキなプレゼントをいただきました。



「ぼよよん行進曲」をみんなで踊ったよ



吉舎町のなかで、0 歳児から 18 歳までの交流ができることは、保育所の子どもたちにとっても、お兄さんお姉さんたちみたいになりたいな！と憧れをもって成長することができます。この貴重な機会を毎年いただくことができ、とても嬉しく思います。これからも継続して、「保・小・中・高」連携の吉舎の教育のすばらしさと大切さに気付くことのできる機会となっていくことを願います。